

中学部の教育目標と受験に向けた対応について

【中学部】

- ・授業内容および進度については、日本の高校受験に対応するために編成されています。
- ・9年次（中学3年次）の2学期中には教科書内容を全て終える進度です。
- ・高校で現地校に転校する際、カリキュラムが違うので Transcript は Equivalent になりませんが、詳細を高校にご説明いたします。
- ・国語・社会・数学・理科は日本語で授業が行われ、英語は受験対応のため EFL(※)となります。
- ・音楽・技術・家庭・美術・保健体育のうち多くはイマージョン教育の位置付けで英語で行われます。（年度により異なり、2019年度は技術・保健体育は日本語）定期試験は、授業の言語で実施されます。
- ・9年生（中学3年生）の編入は、6月中までとし、7月以降は受け入れておりません。
- ・9年次（中学3年次）の第3学期は、受験期による公欠者多数のため、特別な行事を除き、すべての登校日が半日の特別時間割となり、授業料は全額の6割を徴収いたします。
- ・日本の西大和学園中学校・高等学校への姉妹校特別推薦入学制度は、西大和学園カリフォルニア校に1年間以上在籍した生徒のみが選考の対象となります。（他にも英語能力等の条件有）
- ・進路指導の一環として、業者模試を全11回（7年2回、8年3回、9年6回）授業時間枠を利用して受験いたします。全員受験となります。 ※EFL (English as a Foreign Language)

【よくあるお問合せ】

Q1: 9年次（中学3年次）の12月や1月に高校に合格後、英語力をさらに伸ばすため現地校に通うことは可能でしょうか。

A:1 いいえ。本校と現地校との二重在籍となり、本校は退学扱いとなり、卒業の認定がされません。

Q2: 編入試験のレベルはどの程度でしょうか。

A2: 教科書内容の完全な理解に加え、それら知識を応用できる力を問います。

Q3: 授業の水準はどの程度でしょうか。

A3: 上記のような進度に加え、副教材やオリジナル教材を用いて教科書よりも発展的な内容を標準としています。

Q4: 9年生3学期中にビザの期間が切れてしまいます。

A4: 基本的に、ビザが切れてしまいますと本校には在籍できないため、本校での卒業はできません。

そのような事態にならないよう、お勤めの企業様等にお問い合わせください。ビザが切れる場合は、本校を退学し、日本の中学校に編入することになります。

Q5: 9年生3学期中の特別時間割で行われる授業はどのような内容でしょうか。

A5: 受験期のため、進学先が決定している生徒は、中学校の学習の総復習や高校の予習をし、受験を控えている生徒は受験対策演習を、各生徒が準備した教材を用いて行います。教員は、適宜質問対応やその理解を深めるための指導を行います。

Q6: 業者模擬(校内実施分)は必ず受けなければならないでしょうか。

A6: はい。授業時間を使って行われるため、その時点の進路希望に関わらず、全員が受験します。各生徒が自分の学力状況を、より客観的な視点で確認し高校受験に役立てていきます。

Q7: 現地校の高校に進学する場合、そのための準備の学習をしてもらえますか。

A7: いいえ。本校は日本の指導要領に基づいた学習を行います。現地校との学習の差をどのようにしたらよいかは、進学する学区の高校カウンセラーにお問い合わせください。また現地校に進学する場合は、9月から現地校で勉強をはじめるとを推奨しています。

